

八 枝

北九州市立八枝小学校
増刊号 文責 津島 大輔

【学校教育目標】
思いやりの心もち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日に、6年生を対象として教科（国語、算数）と児童質問紙調査を実施しました。

この度、本校の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

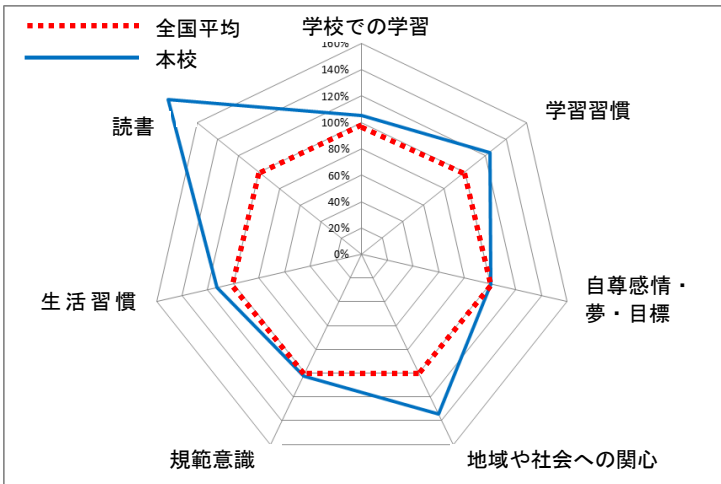
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるものは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では他教科等も含め、総合的に学力向上を目指します。

1. 調査に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）		全国平均正答率との比較
国 語	全体的な傾向や特徴	学習指導要領の内容 A 話すこと・聞くこと、B 書くこと、C 読むことの全領域で全国平均を上回り、特に B 書くことの内容において全国平均を大きく上回った。難易度の高い記述式の問題に対する解答率が高く、正答率も全国平均より高い。	上回っている
	よくできた問題	B 書くこと ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。 ・目的や意図に応じて理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	
	努力が必要な問題	C 読むこと ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。	
算 数	全体的な傾向や特徴	学習指導要領の内容 A 数と計算、B 図形、C 測定・変化と関係、D データの活用の全領域で全国平均を上回り、特に A 数と計算、B 図形、C 測定で大きく上回った。選択式、短答式、記述式のどの解答形式でも平均を上回り、難易度の高い記述式の正答率も平均より高かった。	上回っている
	よくできた問題	C 変化と関係 ・速さに関する問題全般	
	努力が必要な問題	B 図形 ・図形の構成要素に着目し、面積の求め方と答えを記述する。	

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

全項目で全国平均を上回った。読書習慣が一番高く、学習習慣も大きく上回った。家庭での読書や学習を1時間以上する割合が高く、習慣として身に付いている児童も多い。

地域や社会に関する関心も高く、地域行事等への参加に積極的な傾向が見られる。

スマホやゲーム機の扱い方や使用時間等のルールを家庭で作成し、守られている割合も高い。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

①教科に対する取組

教科学習では「自分の考えを資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表することができる。」の数値が高いが、「自ら課題をもち解決する取組（課題解決学習）の数値が平均より低かった。今後、課題解決的な視点を持ち、学習に取り組むことで、より主体的に学習を進め、個の特性や能力を引き出すことができると考える。

②家庭生活習慣等に関する取組

規則正しい生活習慣を送ることができている児童が多く、今後も学校・家庭が協力・連携しながら、児童の育成に努めることを継続していく。

